

1. 基本情報

- (1) 国名：コンゴ民主共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：中央コンゴ州マタディ市
- (3) 案件名：マタディ港改良計画（The Project for the Improvement of the Port of Matadi）
- (4) 計画の要約：本計画はマタディ港運輸港湾公社のコンテナターミナルのコンテナヤード舗装の改良とターミナル・オペレーション・システムの導入により、コンテナヤードにおけるコンテナ蔵置スペースの回復、安全性の向上、並びに荷役作業の効率化を図り、もってマタディ港の能力強化を通じたコンゴ民主共和国内の運輸インフラ整備に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コンゴ民主共和国は、サブサハラ・アフリカ第一位の国土面積を誇り、豊富な鉱物資源等を有する資源国であるが、90 年代から続いた紛争や政情不安によって 2,300 万人以上の国内避難民が発生したとされており、現在でも東部地域は反政府勢力の活動によって治安情勢が回復していない。しかしながら、2018 年末に実施された大統領選挙では野党候補（チセケディ現大統領）が当選し、平和裏に選挙による政権交代が実現した。新政権が取り組む同国の平和の定着や持続的発展を支援することは、アフリカにおける民主化及び経済開発支援において我が国のプレゼンスを示す上でも意義が大きい。

特に同国では、長年の政情不安や過去の内戦等を背景にインフラの未整備及び老朽化が深刻な課題となっており、輸入貨物の約 4 割が荷揚げされる国内最大の河川港で、キンシャサ等の同国西部と国際航路を繋ぐ主要港であるマタディ港も同様の問題に直面している。本事業については、同国政府からも強く支援を要請されており、新政権との緊密な協力関係構築を進める観点からも、本事業を通じて同国を支援する外交的意義は非常に大きい。

- (2) 当該国における港湾セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

コンゴ民主共和国は、国土面積は約 234 万 km²（我が国の約 6 倍）、人口は約 8,679 万人（2019 年、世界銀行）、一人あたり GNI は 520 米ドル（2019 年、世界銀行）の後発開発途上国である。同国においては、長年の政情不安や過去の内戦等を背景に、インフラの未整備及び老朽化が深刻な課題となっている。特に、広大な国土を有する一方で都市間の輸送網は限定的であり、かつ施工後長年に亘り十分な改修がなされておらず、運輸インフラの整備・維持管理の不足が社会・経済発展における阻害要因となっている。そのため、同国政府は、国家開発戦略計画（2019-2024）の重点分野として「インフラ整備」を掲げ、その一環として既存インフラの改修・保全に取り組んでいる。

中央コンゴ州に位置するマタディ港は、輸入貨物の約 4 割が荷揚げされる同国内最

大の河川港で、キンシャサ等の同国西部と国際航路を繋ぐ主要港である。マタディ港には運輸港湾公社（Société Commerciale des Transports et des Ports。以下「SCTP」という。）と民営の2つのコンテナターミナルがあり、コンテナの総取扱量は、2018年は対前年度11%増、2019年には18%増となり、過去最高の取扱量を記録した。GDP成長率を踏まえた需要予測に鑑みれば、将来のコンテナ取扱需要の更なる増加が見込まれる。

しかしながら、1930年代に建設されたSCTPコンテナヤードの舗装は大型荷役機械の走行により劣化し、水たまりも多数発生しているため、コンテナの蔵置可能なスペースが減少し、荷役機械の走行にも支障をきたしている。加えて、効率的な荷役作業に必須となるターミナル・オペレーション・システム（以下、「TOS」という。）が未導入のため、荷役効率が低下している。以上から、コンテナヤードの舗装の改良とTOSの導入により、コンテナターミナルの荷役作業の効率化が喫緊の課題となっている。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：施設／コンテナヤード、機材／TOS

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理、TOSの利用法の研修等。詳細は協力準備調査にて確認する。

② 期待される開発効果

コンテナターミナルの取扱容量の増大（コンテナ蔵置スロット（TEU）：1,040→1,144）により、コンゴ民主共和国における物流の安定性向上への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：運輸港湾公社（SCTP）

他機関との連携・役割分担：特になし。

④ 運営／維持管理体制：SCTPはマタディ港のコンテナターミナルを運営・実施管理しており、荷役機械の維持管理も実施しているが、過剰人員雇用等、経営・財務面で一部課題がある為、詳細を協力準備調査にて確認する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：アフリカ開発銀行が、中央コンゴ州東部に位置するバナナ港の調査を実施したが、マタディ港を含む港湾に関する支援は行われておらず、他ドナー事業との重複はない。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

アンゴラ共和国向け無償資金協力「緊急港湾改修計画」（評価年度2014年）の事後評価等において、実施機関の経験不足により港湾運営の持続性に問題が見られたことから、今後は実施機関に対して、体制・技術・財政毎の運営管理能力分析に基づく能力向上支援が望ましいと指摘されている。また、中華人民共和国向け円借款「国家経

済情報システム事業」及びインドネシア共和国向け円借款「中央統計局コンピューター整備事業」（評価年度 2004 年）の事後評価等において、政府内部の情報システム構築を円滑に推進する上で実施機関の主体性及び運営・維持管理能力強化の重要性が指摘されている。本計画では、これら教訓を生かし、運営管理を担う SCTP の施設管理体制やシステム導入に係る運営・維持管理能力の強化について協力準備調査にて十分な分析を行い、必要な対応策を検討する。

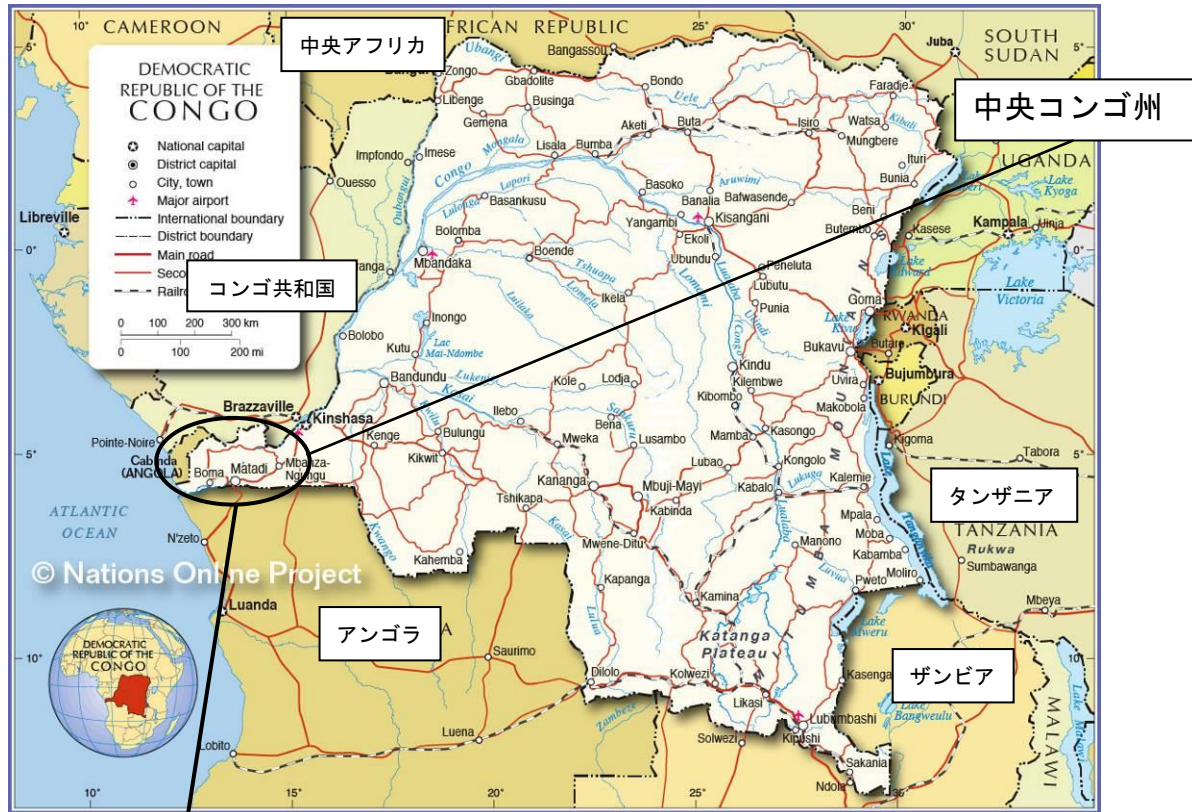
以 上

〔別添資料〕 地図

〔別添資料〕 写真

マタディ港改良計画 地図

<コンゴ民主共和国全体地図>



(出典 : Nations Online Project)

<中央コンゴ州地図> ※赤枠部分



(出典 : Google マップ、2020 年 10 月 13 日アクセス)

マタディ港改良計画 現況写真



コンテナヤード舗装の劣化、痛みが著しく、水たまりも多数発生している。



コンテナヤードの劣化により本来のコンテナ蔵置可能なスペースが狭まっている。



劣化したコンテナヤードは荷役機械の走行に支障をきたし、荷役効率の低下を招いている。